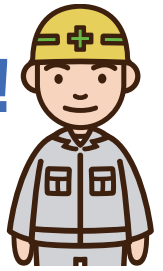


建設業法の改正内容を再チェック!



建設業界における長時間労働の是正や人手不足などの構造的な課題に対応するため、2025年12月12日に改正建設業法が完全施行されました。今回は、処遇改善や働き方改革などを後押しする改正建設業法のポイントを改めて確認し、対応できているかを確認していきましょう。

1 処遇改善

(1) 建設業者の責務、取組状況の調査

○労働者の**処遇確保**を建設業者に**努力義務化**

➡国は、建設業者の取組状況を**調査・公表**、
中央建設業審議会に**報告**

【国】中央建設業
審議会への報告
(施策の見直し)



(処遇改善の施策)

【国】
取組状況を調査・公表

【建設業者】
処遇確保に努力

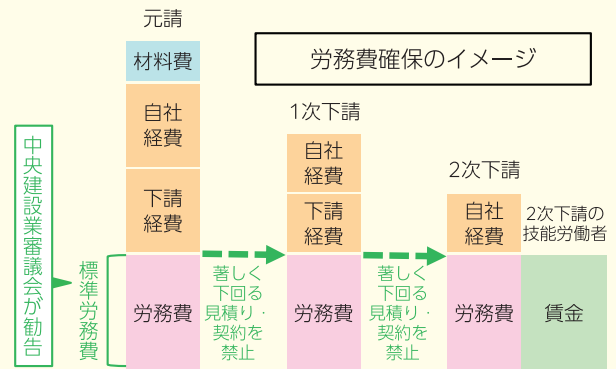
(3) 不当に低い請負代金の禁止

○総価での原価割れ契約を受注者にも**禁止**
(現行) 注文者は、地位を利用して、原価割れ契約をしてはならない。

(2) 労務費(賃金原資)の確保と行き渡り

○中央建設業審議会が「**労務費の基準**」を作成・**勧告**
○**著しく低い労務費等***による見積り提出(受注者)や
見積り変更依頼(注文者)を**禁止**
※施工に通常必要な労務費等を著しく下回るもの

➡違反して契約した**発注者**には、国土交通大臣等が**勧告・公表**
(違反して契約した建設業者(注文者・受注者とも)には、現規定により、指導・監督)



2 資材高騰に伴う労務費のしわ寄せ防止

契約前の ルール

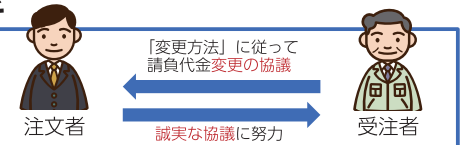
- 資材高騰に伴う**請負代金**等の「**変更方法**」を契約書の
法定記載事項として**明確化**
- 受注者は、**資材高騰の「おそれ情報」**を注文者に**通知**する義務



資材高騰等が顕在化したとき

契約後の ルール

- 契約前の通知をした**受注者**は、注文者に**請負代金**等の**変更**を協議できる
- ➡注文者は、**誠実に協議**に応ずる**努力義務***
※公共発注者は、協議に応ずる義務



期待される効果

資材高騰分の転嫁協議が円滑化、労務費へのしわ寄せ防止

3 働き方改革と生産性向上

(1) 働き方改革

① 工期ダンピング*対策を強化

新たに**受注者にも禁止** ➡ 違反した建設業者には
(現行) 注文者は、工期ダンピングを禁止 **指導・監督**

※通常必要な工期よりも著しく
短い工期による契約
中央建設業審議会が「工期の
基準」を作成・勧告

② 工期変更の協議円滑化

契約前

受注者は、**資材の入手困難**等の
「**おそれ情報**」を注文者に**通知**する義務

(注)不可抗力に伴う工期変更は、
契約書の法定記載事項(現行)

契約後

上記通知をした**受注者**は、
注文者に**工期の変更**を協議できる

➡注文者は、**誠実に協議**
に応ずる**努力義務***

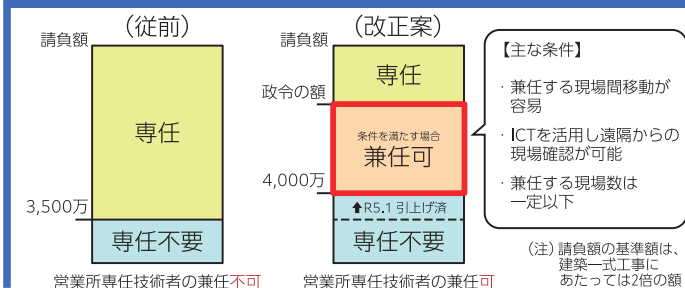
※公共発注者は、協議に応ずる義務

裏面では、改正建設業法の『生産性向上』についてご紹介しています。

裏面へ

(2)生産性向上

①現場技術者の専任義務の合理化



②ICTを活用した現場管理の効率化

- 国が現場管理の「指針」を作成
- ➡特定建設業者※や公共工事受注者に対し、**効率的な現場管理を努力義務化**
※多くの下請け業者を使う建設業者
- 公共発注者への**施工体制台帳の提出義務を合理化**
(ICT活用で確認できれば提出不要に)

リフォなび ×ハウステック コラボキッチン

一般ユーザーの「リアルな声」をカタチに。 「marule(マルーレ)リフォなびselection」

「リフォなび」は、リフォームで失敗・後悔したくないユーザーを支援する「リフォーム学習・相談プラットフォーム」です。YouTube動画3000本以上のライブラリーや、ユーザー97%以上の「生の声」に基づいたリアルな情報を発信。お施主様から届く「生の声」をもとに、リフォなびとハウステックがタグを組んで作ったキッチンプランをご紹介します。

中級グレードに憧れをプラス
いいとこ取りのわがままプラン



オススメ
01

実質4段の引出し! アレンジスライド



オススメ
02

生ゴミはシンク下へ



オススメ
03

BOSCH食洗機



オススメ
04

フィオレストーン



オススメ
05

魚グリルが不要なら! 収納力をアップ



オススメ
06

オイルスマッシャー



オススメ
07

電動昇降吊戸棚



「マルーレリフォなびセレクション」は新宿ショールームに展示中です。遠方のお客様は「オンライン接客サービス」でご案内いたします。
※事前予約制になります。

編集後記

工期ダンピング対策や労務費の確保、資源高騰への対応に加え、受注者側も禁止事項が設けられて、業界の当たり前が大きく変わりました。曖昧な点はそのままにせず、この機会に改めて改正内容と自社の対応状況を確認しておきましょう。

ハウステック
公式SNSで
情報発信中!



Instagram



X (Twitter)



Pinterest



YouTube



TikTok